令和2年度 普通科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「地学基礎」改訂版（新興出版社啓林館）						
副教材等	センサー地学基礎改訂版(新興出版社啓林館)＋ニューステージ新地学図表						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「地球」を多方面から科学的に学ぶ。それぞれの分野は私たちの日常生活に深く関わっていることもあり、興味をもって学習し、「理解」してほしい。決して「暗記」する科目ではない。

また地球に対する様々なアプローチは、どの分野からでも地球環境問題や、人類の未来について考えさせられる。主体的な学びに期待する。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

- ・変動する地球について観察などを通して探究し、地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。
- ・地球の形成について観察などを通して探究し、惑星としての地球の特徴を理解する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表す。	地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙の構成	太陽系の構造		○	○	○	a: 太陽や太陽系の誕生過程と生命を生み出す環境に興味をもち、意欲的に探求する。 b: 惑星の成り立ち、恒星の性質について考察できる。 c: 数値データから太陽系の構造を図や模型として表現する。 d: 惑星以外の天体の種類とその重要性について理解する。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 探求活動 定期考査
		太陽系の誕生	○					
		太陽	○					
		太陽と恒星		○				
		銀河系と宇宙				○		
2学期	固体地球とその変動	地球の概観		○		a: 地震発生メカニズムに関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 地球の形や大きさを求める方法を思考したり、プレートの運動が種々の地学現象を引き起こすことを考察する。 c: 火成岩の観察を通じて岩石名を判断できる。 d: 地球の内部構造と構成物質の違いを理解している。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 探求活動 定期考査	
		地球の内部構造						○
		プレートテクトニクスと地球の活動		○				
		地震	○					
		火山活動と火成岩の関係			○			
3学期	大気と海洋	大気圏				○	a: 海水の循環とその理由について関心を持ち意欲的に学習する。 b: 太陽放射とエネルギー収支から大気大循環が発生することを考察する。 c: 水の三態変化と雲の発生を実験する。 d: 大気圏の基本的な構造を理解する。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 探求活動 定期考査
		水と気象			○			
		太陽放射エネルギー		○				
		大気の大循環		○				
		海水の循環	○					

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度   b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能   d:知識・理解

※ 原則として一つの単元で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。